



近畿地方整備局 福井河川国道事務所 資料配布	配布日時 平成27年6月23日 14時00分
------------------------------	------------------------------

件名	国道27号 倉見 ゲリラ豪雨に対応し、新しい通行規制基準を試行 ～災害捕捉率の向上と通行止め時間の最適化～
----	--

概要	<p>○ゲリラ豪雨等、時間50mmを上回る降雨が、最近30年間で1.3倍に増加しているなど、近年、雨の降り方が局地化、集中化しています。</p> <p>○気象の変化から、突然の大雨により土砂災害等が発生し、道路が通行止めになるなど、従来あまり見られなかった形態の災害が増えています。</p> <p>○今般、こうした気象や災害の変化に即応できるよう、福井県の国道27号『倉見』において、新しい通行規制方法を試行します。</p> <p>○平成27年6月23日より、試行として運用を開始。</p> <p>■試行導入箇所：国道27号 倉見 試行導入区間：福井県三方上中郡若狭町倉見<small>したなか</small>～下々中、延長3.0km</p> <table><tr><td>【導入前】</td><td>連続雨量</td><td>220mm</td></tr><tr><td>【導入後】</td><td>連続雨量</td><td>260mm</td></tr><tr><td></td><td>(試行)連続雨量</td><td>220mm</td></tr><tr><td></td><td>時間雨量</td><td>40mm</td></tr></table> <p>この度の試行により、連続雨量が260mmに達しない場合でも、時間雨量40mmを観測した時点で、連続雨量220mm以上の場合は、交通通行規制を行う場合があります。</p> <p><参考>全国では、一般国道18路線 24区間を対象に試行の導入をしています。</p>	【導入前】	連続雨量	220mm	【導入後】	連続雨量	260mm		(試行)連続雨量	220mm		時間雨量	40mm
【導入前】	連続雨量	220mm											
【導入後】	連続雨量	260mm											
	(試行)連続雨量	220mm											
	時間雨量	40mm											

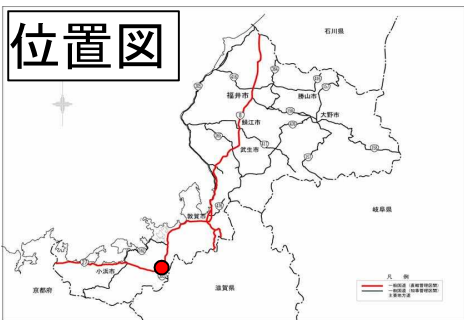
取扱い	_____
-----	-------

配布場所	福井県政記者クラブ
------	-----------

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所 TEL 0776-35-2661 (代) 副所長 峯川 繁 道路管理課長 竹沢 幸英
------	--

新しい通行規制基準を試行

- 試行対象箇所 : 国道27号 倉見
- 試行対象区間 : 福井県三方上中郡若狭町倉見～下夕中
- 試行対象延長 : 3.0 km
- 試行導入前 : 連続雨量 220 mm
- 試行導入後 : 連続雨量 260 mm
組合せ雨量 連続雨量 220 mm
時間雨量 40 mm



写真①

写真②



平成27年6月23日
道路局 国道・防災課

ゲリラ豪雨に対応し、新しい通行規制基準を試行します。 ～災害捕捉率の向上と通行止め時間の適正化～

- ゲリラ豪雨等、時間50mmを上回る降雨が、最近30年間で1.3倍に増加しているなど、近年、雨の降り方が局地化、集中化しています。
- こうした気象の変化から、突然の大雨により土砂災害等が発生し、道路が通行止めになるなど、従来あまり見られなかった形態の災害が増えています。
- 今般、こうした気象や災害の変化に即応できるよう、直轄国道の一般道路において、新しい通行規制方法を試行します。ポイントは次のとおりです。
 - ポイント1：雨の降り方の強さ（時間雨量）に対応した通行止め基準を設定し、災害捕捉率を向上
 - ポイント2：過去の雨量データや災害履歴を踏まえ、連続雨量（累積雨量）の通行止め基準を最適化し、トータルの通行止め時間を適正化
- 試行導入区間：一般国道 18路線 24区間（別紙1）
- 期 間：6月中旬以降より実施
 - ※具体の実施期間は、各地方整備局にお問い合わせください。

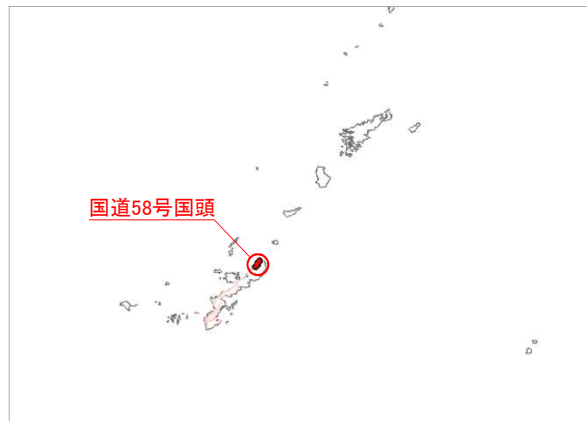
<問い合わせ先>

道路局 国道・防災課 道路防災対策室 企画専門官 淡中（内線37-812）
課長補佐 今田（内線37-662）
代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8489
FAX 03-5253-1620

■新しい通行規制基準の試行区間一覧

No.	地整名	一般国道 路線番号	区間	
			呼称	地先
1	北海道	229	おおもり 大森	ふるま かもふないむらさんない かもふないむらおおもり 古宇郡神恵内村柵内～神恵内村大森
2	北海道	229	おやこべつ 親子別	いわうち いわないちようしまくない いそや らんこしやうみなまち 岩内郡岩内町敷島内～磯谷郡蘭越町港町
3	北海道	232	おおとど 大楸	るもい おびらちやうおおとど おびらちやうはなおか 留萌郡小平町大楸～小平町花岡
4	東北	7	かたのりざわ 堅苔沢	やまがた つるおか かたのりざわ しかうら つるおか かたのりざわ みやた 山形県鶴岡市堅苔沢字深浦～鶴岡市堅苔沢字宮田
5	東北	13	かねやま 金山	やまがた もがみ かねやままちとざわ まわろがわまのぞき 山形県最上郡金山町外沢～真室川町及位
6	関東	20	うまのほら 上野原	やまなし うまのほら いびじり うまのほら こまき 山梨県上野原市井戸尻～上野原市腰巻
7	関東	20	はつかり 初狩	やまなし おおつき おおつき まぎ おおつき はつかりましはつかり 山梨県大月市大月町真木～大月市初狩町下初狩
8	北陸	8	おやしらず 親不知	にいがた いたいがわ おうみ いたいがわ うた 新潟県糸魚川市青海～糸魚川市歌
9	北陸	8	こしらず 子不知	にいがた いたいがわ となみ いたいがわ いちがり 新潟県糸魚川市外波～糸魚川市市振
10	北陸	41	にれはら 楡原	とやま とやま いおだに とやま にれはら 富山県富山市庵谷～富山市楡原
11	中部	41	ひがしうた 東上田	ぎふ げふ ひがしうた とちほら げふ ひがしうた すなば 岐阜県下呂市東上田字栲洞～下呂市東上田字砂場
12	中部	42	にき坂 荷坂	みえ わたらい たいきちやうおおうちやま きたむろ きほくちやうきながしま ひがしながしま 三重県度会郡大紀町大内山～北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島
13	中部	52	おうさか 逢坂	しずおか しずおか しみず こごらちさかもと しずおか しみず ししほら 静岡県静岡市清水区小河内坂本～静岡市清水区穴原
14	近畿	27	くらみ 倉見	ふくい みかたかみなか わかちちやうくらみ わかちちやうしたなか 福井県三方上中郡若狭町倉見～若狭町下々中
15	近畿	42	みなべ みなべ	わかやま ひだか ちよやまうち ひがしわしろ 和歌山県日高郡みなべ町山内～東岩代
16	近畿	176	しおせ 塩瀬	ひょうご にのみや しおせちやうなほ お なませ 兵庫県西宮市塩瀬町名塩～生瀬
17	中国	2	せきと 関戸	やまぐち いわくに いわくに せきと 山口県岩国市岩国～関戸
18	中国	53	くさう 草生	おかやま おかやま きた みつくさう か せ 岡山県岡山市北区御津草生～鹿瀬
19	四国	32	いやくち 祖谷口	徳島県三好市池田町白地～三好市山城町西宇字島の上
20	四国	33	せんぞく 千足	えひめ まつやま くにまち いよ とべちやう せんぞく 愛媛県松山市久谷町～伊予郡砥部町大字千足
21	九州	57	うんぜん 雲仙	ながさき みなみしきぼん ながさちやうこう 陸奥ま うんぜん おぼまちやうとんぜん ほうげん 長崎県南島原市深江町甲字裕～雲仙市小浜町雲仙字宝原
22	九州	57	おぼま 小浜	ながさき おぼまちやうんぜん ぬだのほら みなみさし ながさき 長崎県雲仙市小浜町雲仙字礼原～南木指字流合
23	九州	201	からす 烏尾	ふくおか いいづか にほながたに たがわ いたたらやうわ だ 福岡県飯塚市仁保長谷～田川郡糸田町和田
24	沖縄	58	くにがみ 国頭	おきなわ くにがみせん ぎ なま くにがみせん よな 沖縄県国頭村字宣名真～国頭村字与那

新しい通行規制基準の試行区間箇所図



国道58号国頭

国道232号大楸
国道229号大森
国道229号親子別

国道13号金山
国道7号堅苔沢

国道8号親不知
国道8号子不知

国道41号楡原

国道27号倉見

国道176号塩瀬

国道53号草生

国道2号関戸

国道20号上野原

国道201号烏尾

国道20号初狩

国道52号逢坂

国道57号小浜

国道57号雲仙

国道32号祖谷口

国道33号千足

国道42号荷坂

国道41号東上田

国道42号みなべ

○ 規制基準見直し試行区間(直轄国道)・・・24区間

1. 増加する短時間強雨

・時間50mm/h以上の短時間強雨の発生件数は、1970年代に比べて、2000年代は約1.3倍に増加。

50mm/h以上の短時間強雨の発生回数



2. 短時間強雨による災害

・短時間強雨の発生増加にともない、各地で土砂災害等による通行止めが発生し、通行車両が巻き込まれる事態も発生。



H25.8.9 国道46号 岩手県雫石町

- ・5時間降水量が平年の8月1ヶ月間の降水量の206mmを超える216mmを記録。
- ・国道46号の9箇所で土砂 流出や冠水などの災害が発生し、3日間の通行止め。

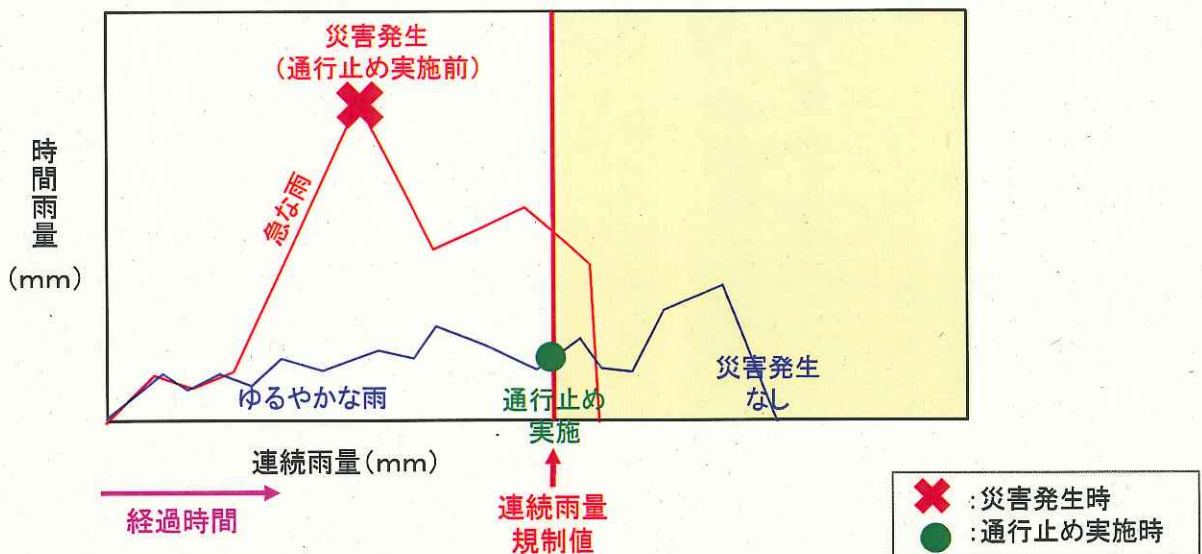


H26.8.20 国道54号 広島県広島市

- ・3時間降水量が観測史上最大となる217.5mmを記録。
- ・各地で土砂流出による災害が発生し、国道54号では、約15時間の通行止め。

1. 今までの雨量規制

- ・連続雨量(累積雨量)により雨量規制を行っており、ゲリラ豪雨等の局地的・集中的な大雨(時間雨量が大きい)に対しては、通行規制前に災害発生の場合もあり。
- ・一方、連続雨量規制値についても、経験的設定値であり、通行止めを行っても、災害発生がないケースもあり。



2. 時間雨量導入による雨量規制

- ・時間雨量を雨量規制に導入することにより、ゲリラ豪雨等の局地的・集中的な大雨に対しては、災害発生前に通行止め実施が可能。
- ・連続雨量規制値についても、適正化を行うことにより、通行止め回数の減少が期待。

